

危険物新聞

第 511 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
編集 松 村 光 惟
発行人

大阪市西区新町 1 丁目 5-7
四つ橋ビル
TEL (531) 9 7 1 7・5 9 1 0
定価 1 部 60 円

第 2 回 危険物取扱者試験

10月13日(日)、近畿大学で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成 8 年度第 2 回危険物取扱者試験を 10 月 13 日(日)に、東大阪市内の近畿大学において下記のとおり実施する。

第 2 回危険物取扱者試験

試験日	10月13日(日) ・乙種 4 類 (午前・午後) ・甲種、4 類以外の乙種、丙種 (午後)
試験会場	近畿大学 (東大阪府)
願書受付日	9 月 17 日(火)、18 日(水)
願書受付場所	大阪府職員会館

予備講習は、甲種・乙種 4 類・丙種 高槻・大東など府下 11 会場で

試験予備講習会は、甲種、乙種 4 類、丙種について大阪、堺、枚方、大東、高槻など府下 11 会場で別掲のとおり (8 頁参照) 行われる。

なお、大学、高校及び各種学校の学生については、学生割引を行います。申込時に学生証を掲示のこと。

土曜コース・休日コース予約開始

土曜コース (定員 140 名) 休日コース (定員 140 名) については電話予約による受付を行なっている。受講希望者は、電話 (06-531-9717) で 8 月 30 日まで (ただし、満席になり次第締切り) に予約されたい。

6 月の試験結果

甲種 (30.5%)、乙 4 (40.1%)

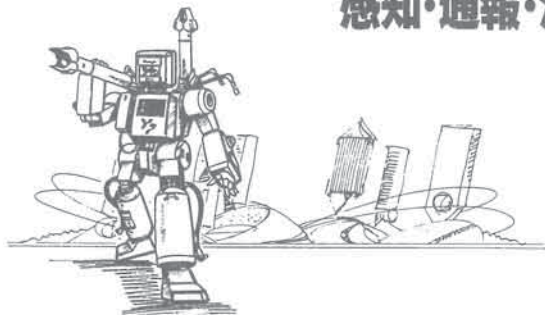
(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成 8 年度第 1 回危険物取扱者試験を 6 月 9 日及び 16 日、大阪府立大学で実施したが、その結果が 7 月 10 日に発表された。

試験区分別の合格率は次のとおりである。

区 分	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率 (%)
甲 種	456	139	30.5
乙 1	117	92	78.6
乙 2	127	108	85.0
乙 3	117	84	71.8
乙 4	5,498	2,204	40.1
乙 5	183	149	81.4
乙 6	163	92	56.4
丙 種	1,597	826	51.7



防火設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。
総合防災メーカー ヤマトロテックは、形を知らずとも、消すことを安全確保のベースとして、目的に沿った防災機器の研究開発を、高いレベルで進めています。
* スローガは、サイバーセキュリティで、防災による保護環境づくりの



かんじる しらせる けす
感知・通報・消火
・K/NTL...
。。

ヤマトロテック株式会社

本 社 〒537 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)976-0701代 東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

保安講習について

危険物取扱者保安講習は、消防法第13条の23で定められた義務講習である。

危険物製造所等（ガソリンスタンド、タンクローリー等の危険物施設）で危険物の取扱いに従事する危険物取扱者（保安監督者を含む）は、定められた期限内にこの講習を受講しなければならない。

◇受講期限は3年以内

受講期限は、原則として、資格を取得した日、又は保安講習を受講した日から3年以内毎に受講しなければならない。受講義務者が期限内に受講しないときは、免状の返納が命ぜられることがあるので注意されたい。

◇受講手続の要領について

① 受講予約の申込書（指定の往復ハガキ：府下各消防本部、予防課で配付）に希望する会場（第1希望から第4希望まで）を記入して、郵送して下さい。

なお、今年度より申請書の氏名欄に押印がいらなくなりました。

また、一事典所で複数の受講者があるときは、個々に切手を貼らないで、とりまとめて角封筒に入れ、返信用角封筒（いずれも切手貼付）を同封の上、郵送下さい。

② 後日、受講申請日、申請場所、講習日等を指定して、返信ハガキで、本人へ通知します。

（通知はおおむね受講日の2～3週間位前になりますのでご了承下さい）

③ 指定された申請日に、申請場所で、申請書（返信ハガキ裏面）に受講手数料（4,700円の大阪府証紙）を貼付して、申請して下さい。（証紙は申請場所で発売）

申請書が受理されると、受講票及びテキストを交付します。

④ 申請書受付後は、いかなる理由があっても手数料、提出書類は一切返却いたしません。

⑤ なお、受講時間は各会場共3時間です。（開講時間は、講習会場により若干異なります。）

⑥ 講習当日、受講票、免状及びテキストを持参し、所定の講習（3時間）を受講すると、免状に受講済印を押しかつ交付します。

保安講習日程表（予定）

◇その他・一般（18会場）			
回数	開催日時（予定）	会場	所在地又は最寄駅
23	9月11日(水)午後	豊中市市民会館	阪急・宝塚線・曾根駅
24	9月12日(木)午後	和泉警察総合センター	JR・阪和線・信太山駅
25	9月13日(金)午後	柏羽藤消防本部	藤井寺市青山5-613-8
32	10月4日(金)午前	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
36	10月14日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・禰駅
39	10月17日(木)午後	八尾市消防本部	八尾市高見町5-7
40	10月18日(金)午後	大東市消防本部	JR・片町線・住道駅
42	10月22日(火)午前	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・禰駅
45	10月24日(木)午後	守口門真商工会議所	京阪・門真市駅
46	10月25日(金)午前	北河内府民センター	京阪・枚方市駅
47	10月25日(金)午後	北河内府民センター	◇
50	10月30日(水)午前	高槻市消防本部	JR・阪急・高槻駅
51	10月30日(水)午後	高槻市消防本部	◇
52	11月1日(金)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・禰駅
53	11月6日(水)午後	吹田メイシアター	阪急・千里線・吹田駅
54	11月18日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・禰駅
55	12月3日(火)午後	大阪府商工会館	◇
56	12月4日(水)午後	大阪府商工会館	◇

◇大阪北港コンビナート関係（2会場）			
回数	開催日時（予定）	会場	所在地又は最寄駅
34	10月8日(火)午後	住友金属(株)	JR・福知山線・安治川駅
49	10月29日(火)午後	住友金属(株)	◇

◇給油取扱所関係（2会場）			
回数	開催日時（予定）	会場	所在地又は最寄駅
33	10月4日(金)午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
43	10月22日(火)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・禰駅

◇タンクローリー（4会場）			
回数	開催日時（予定）	会場	所在地又は最寄駅
22	9月7日(土)午後	大阪府トラック総合会館	JR・環状線・京橋駅
30	9月23日(土)午後	大阪府トラック総合会館	◇
41	10月21日(月)夜	臨海センタービル	堺市石津西町7
48	10月28日(月)夜	臨海センタービル	◇

注1. 保安講習の講義時間は3時間です。

（開講時間は、講習会場によって若干異なります。）

注2. 会場欄中*印の会場は駐車可。（ただし、堺市民会館は有料）

<9年2月期の予定>

- ・大阪市内 5会場（うち、化学工場関係 1会場）
- ・堺、茨木、東大阪 各1会場

安全管理論文 優秀賞

「終わりのない危険物安全管理」
〈その 2〉大阪ガス(株)西島炭素材センター
片岡 三九光

3. 作業の危険予知活動

設備の故障が減少し、それによる危険機会が減少しても、ヒューマンエラーを原因とする災害の発生は避けられない。むしろ最近ではヒューマンエラーが原因となる災害が増加傾向にある。

人間は、インプットに対して知覚、認知し、思考判断して動作すなわちアウトプットを出す、いわゆる一つの制御体と考えることができる。よって、認知段階におけるミス、思考判断段階におけるミス、動作段階におけるミスと各段階で誤操作やヒューマンエラーが起きる芽が存在している。それらを防止するため、次の活動を展開している。

① 認知ミスの防止

- ・始業ミーティング時の安全五指標語唱和
…………… 運転交換前の心構え
- ・作業前KY活動の実施…………… 作業開始前の心構え

② 誤判断忘却ミスの防止

- ・防災ミーティングの実施 (毎日 3 回)
…………… プラント状況の正確な把握
- ・作業標準書の定期的な見直しと周知
…………… プラント知識の正確な記憶
- ・作業チェックシートの充実…………… 点検忘れの防止
- ・運転スキル向上と各種安全教育の実施
…………… 危険物等の安全知識習得

③ 動作ミスの防止

- ・指差呼称の励行…………… 誤動作や認知のミスの防止
- ・ヒヤリハットの摘出改善…………… 不安全作業の防止
- ・防災訓練の実施 (小規模訓練: 月 1 回、総合消防訓練: 年 2 回等)

④ 全体活動

- ・法を遵守した防災組織の整備
- ・安全推進委員パトロールおよびミーティングの実施 (月 1 回)
- ・幹部点検の実施
- ・各種安全大会の開催

多くの安全活動を実施していても、同じことが続くとマンネリ化し、安全意識が低下してくる。さらに次の 2 つの工夫をすることにより、センター員の安全意識の高揚を図っている。

3-1 ヒヤリハット活動の拡大

安全面を中心にヒヤリハットの摘出活動を展開し、二度と同じヒヤリハットを起こさないようにし、人身災害や事故を防止してきた。このヒヤリハットの適用範囲を順次拡大し、災害防止に役立っている。

(1) 心身分析の追加

プラント運転時にアラームを見落としたために、トラブルが発生するといううっかりミスが起きることがある。これらは「体調が悪かった」とか「心配ごとが頭についていた」とかの心身状態が影響して認知ミスにつながった事例である。

プロのサッカー選手や野球選手が試合前に精神集中し、試合に備えるように、プラントを運転する者も同様のプロ意識を持って仕事に臨むことが期待される。そのような意識を醸成するために、ヒヤリハットを摘出したときにどのような心身状態にあったか下記の項目から選んでもらうようにし、反省も記入してもらうようにしている。

普通消防ポンプ車

MX-1

消防そして救助。災害にも即応する資機材を搭載。

- MX-1専用キャブ、ハイルーフレッドワイドウィンド
- オートマチックトランスミッション
- フルパワーP.T.O.
- デジタル表示式集中コントロールパネル
- 動力式ホースレイヤー
- 吸盤、各種取水器具、資機材をコンパクトに収納

MORITA
森田ポンプ株式会社

本社 / 〒544 大阪市生野区小島東5丁目5番20号
TEL (06) 756-0110 FAX (06) 754-3461
東京・大阪・仙台・名古屋・福岡・富山・松山

- 01 よく見え(聞こえ)なかった
- 02 気がつかなかった、見落とした
- 03 考えていたがやる時忘れていた
- 04 知らなかった、判らなかった
- 05 深く考えなかった
- 06 急所に気が付かなかった
- 07 大丈夫だと思った
- 08 ふんざりがつかなかった
- 09 難しかった、やりにくかった
- 10 無意識に手が動いた
- 11 あわてていた
- 12 不愉快なことがあった
- 13 心配ごとが頭についていた
- 14 疲れていた

(2) 想定ヒヤリハットへの拡大

体験ヒヤリハットが抽出されれば、その重要度に応じて作業改善や設備改善を実施してきた。それにより体験ヒヤリハットの抽出件数が減少してきたので、「～したらと思うとヒヤリハットした」というように先取り(想定)ヒヤリハットも抽出してもらうようにした。

3-2 他社事例ヒヤリハットへの展開

最近、高速増殖炉もんじゅの温度計さや管からのナトリウム漏洩事故が発生した。この事故の発生原因も参考になるが、異常時のナトリウム抜き取り作業方法にも問題があり、我々プラントを運転している者にとって考えさせられるところが多かった。

これら他社事例を参考にして、類似災害を起こさないための対策を系統的に作成する手法として、他社事例によるヒヤリハットを導入した。

他社事例からヒヤリハットは次のようになっている。

- ① 他社の事故・災害の情報を収集して分析する
- ② 事例の問題点を人・物質・設備・作業・組織・情報に分類する

- ③ 他社の問題点の分類に類似するものを自社の人・物質・設備・作業・組織・情報に置き換えて類推する。
- ④ ③の分類項目を組み合わせて視点を広げて自社の事例を想定する
- ⑤ その事例の可能性を判断し、可能性のある事例について対策を実施する

①～⑤の作業がスムーズにできるようにシートを作成した。組単位(交替勤務5組と日動1組)で他社の事例をもとに討議してもらい、そのシートを完成してもらうようにし、その検討内容から、自社の弱い箇所や足りない箇所を改善するようにしている。

この活動により設備を改善できるだけでなく、自分達のプラントの弱い部分が認識でき、運転感受性を高揚するのに効果をあげている。

4. おわりに

設備は不変ではなく、改造などにより常に変化している。また、設備信頼性及び作業信頼性を向上のためのシステムを構築しても、構築してから年月が経過すると、その意義が忘れられ、設備の微欠陥を発見できずに故障までいたる頻度が増加したり、ヒューマンエラーが増えたりする。すなわち、設備と同じように人の心も不変ではなく、常に変化している。

プラントを管理する者にとって、保安との闘いには終わりがなく、「設備の変化への適切な対応」及び「人の保安意識の高揚」をめざして常に有効な施策を実施するように努力していくことが重要である。

以上

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

 **株式会社技研**

〒530 大阪市北区天満4丁目11番9号 工技研ビル ☎358-9467~8

我が社の保安対策

「テクノアメニティ」に基づく
環境・安全の取組み

〈吹田市〉 (株)日本触媒 吹田製造所

1. はじめに

当社は、レスポンス・ケア活動を推進しており、企業理念を「テクノアメニティ」と定め、「私たちは、テクノロジーをもって人間生活に豊かさと快適さを提供します」の宣言のもとに、「環境・安全に関する基本方針」を次のように定めています。

- (1) わが社は、その得意とする触媒科学、高分子科学の技能を駆使することによって、公害防止に寄与する技術、製品の提供、さらには環境と人間生活のアメニティ化に役立つ事業分野で、新しい技術、製品を開発し、社会に貢献することを当社の重要な経営施策と位置づけた。
- (2) わが社は、企業も社会を構成する一員であり、その存在自体が地域社会はもちろん、ひろしは世界の良き企業市民でなければならず、その活動は、製品の開発から製造・使用を経て、廃棄にいたるまでの全ライフサイクルにわたって、環境と安全、健康を保護するよう配慮する視点を大切に、「持続可能な開発」という原則のもとに、地球的規模での環境の保全・保護に調和させるよう配慮することを基本方針とする。
- (3) わが社は、この基本方針をすべての従業員が正しく理解し、その重要性を自覚し、全ての事業活動を通じて、実践していくことに努める。

この方針において「環境・安全」とは環境（省資源、省エネルギー、リサイクルを含む）、保安、安全衛生、科学品安全（健康保護を含む）を意味します。

その体制として、社長を委員長として、「環境・安全推進委員会」を設け、社内組織体制を明らかにし、環境・安全配慮を図っております。

吹田製造所は、当社創業（昭和16年）から2年後に設立され、現在は樹脂専門製造所として、不飽和ポリエステル樹脂、他各種合成樹脂、を製造しております。

従って、その原料、製品の殆どが危険物に属するものであること、更に近隣に住宅が密集する工場という立地条件からも、その安全維持こそ我々の第一の任務と考え、日

夜、安全活動の推進に努力しています。

2. 当製造所の防災活動

(1) 防災計画の作成

環境・安全推進委員会からの、中期防災基本計画「チャレンジ・ゼロ作戦」に基づき、製造所の防災計画を策定し、その目指す姿を達成するため、重点実施項目を決定します。各職場は、それに基づいて実施計画を立案し、遂行していきます。その進捗状況について、所長のヒヤリングを年2回実施し、活動実績の評価、次への展開を行っていきます。この活動には、協力会社の皆様にも参加して頂き、文字どおり、トップから一丸となつての全員参加の防災活動を実施しております。

(2) 安全審査委員会

この委員会は、①設備の新設・増設 ②作業方法の変更 ③新規開発製品の生産に当って、それらのプロセスや製品の安全性、環境に係る内容等、事前に充分審議、検討し事故・災害を未然に防止し安全を確保するように努めております。

(3) 安全査察

年1回、副社長、役員により実施されます。

これは、現状を把握し、問題点、今後の課題が明確になり、次にやるべき事の示唆となります。



構内で行なわれた消火訓練

3. 防災活動の実施例

(1) 危険予知活動の実施

KY活動、ヒヤリハット活動を実践しており、全員がそれぞれの立場で危険に対する感性を高め、災害の芽を摘み取るよう努力しています。現在では、課長、係長は全員外部のKYトレーナー研修により、トレーナー資格を得、リーダークラス、協力会社、職制も順次受講しております。

(2) 5Sの実施

実施状況を自己評価後、所長巡視評価で査定し、より高いレベルを目指し、快適職場の実現に取り組んでおります。

(3) パトロール

所長・職制、協力会社との合同、安全衛生部員等により、各種行事及び定期的に所内パトロールを行ない、不安全箇所、不安全行動、5S等を評価し作業環境を少しでも改善するように取り組んでおります。又、工場周辺を毎日巡回し、臭気・騒音等の公害防止に努めております。

(4) 非常時対応訓練

阪神・淡路大震災の教訓もあり、万一の場合に備えて、規則類の整備を行ない「緊急時の処置規則」としてまとめ、迅速で的確な行動をとれるようにしております。

訓練については、

- ① 総合防災訓練として、吹田市南消防署御指導のもと、消防署・西御旅地区工場防災連絡会（近隣会社の組織）・地域自治会との合同訓練を年1回秋に実施。
- ② 個別防災訓練として、停電時等の緊急時の処置、夜間時の通報・消火訓練を随時実施。
- ③ 小型ポンプ操法訓練は、吹田市南消防署御指導により、係長を隊長とし、隊員を新入社員で構成して実施。
- ④ 新入社員の消火訓練・通報、呼出訓練・社宅防火訓練。
- ⑤ 救急訓練は、衛生週間に吹田市消防本部講習を受講し、「普通救命講習修了証」をいただき、救命技能を有する社員も増えてきております。

これらの訓練はいづれも消防防災活動の意識の高揚、万一の場合に被害を最小限に抑える目的で実施しております。

4. おわりに

冒頭述べたレスポンス・ケアの視点から、「環境・安全」の向上を図り、無事故・無災害・無公害を達成すべく、保安管理に努力しております。又、高いレベルの5Sの推進に取り組み、汚れ、洩れ、臭いの発散を無くすことを目標とし、環境負荷の低減を推進して、近隣ひいては社会からの信頼の確保に努めたいと考えております。

最後に日頃御指導頂いております吹田市消防本部・南消防署の方々へ紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。以上

協会だより

■ 阪南市火災予防協会 設立総会並びに記念式典開催

阪南市火災予防協会では、6月30日、午前11時より“サンヒル阪南”において、市長をはじめ多数の来賓を迎え設立総会並びに記念式典を開催した。

同協会は205事業所を会員とし、より安全で、より快適な街づくりを目指し、自分達の街から火災を出さないとの念願のもとに設立されたもので、府下では31番目の協会の発足となった。

また、同協会は7月1日をもって財大阪府危険物安全協会に加盟することとなった。



挨拶される松村大阪府危険物安全協会専務理事

■ 忠岡町防火協力会 創立25周年記念式典開催

忠岡町防火協力会では、6月7日忠岡町公民館において、町長・町議会議員・府会議員など多数の来賓を迎え、会員150余名の参加のもと、創立25周年記念式典を盛大に開催した。



原点はロスフリーベンションです。

HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒572 大阪府守口市初田町2-5 TEL. 072056-1241
東京本社 〒110 東京都台東区APU7-20-7 TEL. 031341-0841



頑固な夢がある。
そこに
ある。

ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

当日は、「記念式典」及び「記念祝賀会」の2部構成で行なわれ、まず、第1部記念式典では、協会記念事業として、忠岡町消防本部に対してパーソナルコンピューター一式を贈呈し、町長から感謝状の贈呈を受けた。



開会の挨拶をされる小島防火協会々長

また、優良会員・優良事業所に対して、会長より表彰並びに感謝状の贈呈を行なった。

第2部の祝賀会では、当町の郷土芸能同好会「さつき会」による泉州音頭、又お楽しみ抽選会と会場も大いに盛り上がり、和やかなうちに終了した。

また、25周年記念の記念誌とともに記念テレホンカードが出席者全員に贈られた。

■ 柏羽藤火災予防協会 危険物部会研修会開催

柏羽藤火災予防協会危険物部会(部会長・松尾 修)では、6月11日柏原市内のサンヒル柏原において、部会員研修会を開催した。

当日は、部会員50余名が参加し、講師に大日本インキ化学工業株式会社環境保安室課長・古川博行氏を招き、「危険物施設の安全管理」と題し従業員の教育・訓練・災害防止対策などについてOHPを混えた講演が行なわれた。

引き続き、部会総会に移行し、危険物の災害予防と危険物施設の安全の強化推進を図るさまざまな事業の計画が討議された。



講演される古川博行氏

■ 豊中防火安全協会 創立40周年記念式典開催

豊中防火安全協会では、6月21日(金)午後4時より、千里阪急ホテルに於いて市長・市議会議長・府消防防災課長等多数の来賓を迎え、会員170余名、総勢230余名の参加のもと創立40周年記念式典が盛大に開催された。

式典は、「記念式典の部」と「祝賀会の部」の2部に分けて行われ、式典の部では35年・40年の永年在会々員(69事業所)の表彰が行われ西口防火安全協会長から表彰状が贈呈された。続いて記念事業として防火安全協会から豊中市消防本部にテント7張が寄贈され、それに対して豊中市長から防火安全協会に感謝状が贈呈された。また、(財)大阪府危険物安全協会理事長から感謝状の贈呈があり、その後、来賓の祝辞・関西テレビアナウンサー桑原征平氏による記念講演等が行われ、協会副会長の閉会の辞で終了した。

つづいて、祝賀会の部では、消防音楽隊の記念演奏で始まり数々のアトラクションが行われ、祝宴は終始なごやかな雰囲気の中に終了した。また出席者全員に記念品が贈られた。



盛会に行なわれた40周年記念祝賀会

“危険物規制 100年の変遷” 発刊

A4版、上質紙、約180頁(うち80頁カラー刷)

1. 危険物規制100年の歴史(大正年間以降の写真40点掲載)
2. 危険物災害事例(大正6年より)57事例、写真38点掲載
3. ①統計

- ・全国府県別・危険物施設別施設数の推移
- ・全国府県別・危険物取扱者試験受験者数の推移
- ・年度別石油輸入量の推移
- ・年度別化学製品・都道府県別出荷額の推移

②古文書(明治・大正・昭和初期の取締規則)

▷ 頒価1冊 2,800円(税込)(荷造送料 1冊400円)

▷ 問合せ先 (財)大阪府危険物安全協会 TEL06-531-9717

FAX06-531-1293

大阪府内事業所の場合は、地元の協会へ問合せ下さい。

危険物取扱者予備講習のご案内

平成8年度第2回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	9月18日(水)、9月24日(火)、9月26日(木)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種 4類	1期	9月17日(火)、9月19日(木)	大阪府商工会館
	2期	9月20日(金)、9月25日(水)	大阪府商工会館
	3期	9月26日(木)、10月1日(火)	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ5分)
	4期	9月19日(木)、9月20日(金)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	5期	9月17日(火)、9月18日(水)	北河内(枚方)府民センター (京阪枚方市駅ヨリ約5分)
	6期	9月24日(火)、9月25日(水)	大東市消防本部 (JR住道駅ヨリ約7分)
	7期	9月27日(金)、9月30日(月)	高槻市消防本部 (JR・阪急高槻駅ヨリ10分)
	土曜コース	9月21日(土)、9月28日(土)	大阪府商工会館
休日コース	9月22日(日)、9月23日(祝)、9月29日(日)	大阪科学技術センター	
丙種	9月27日(金)	9時～16時	大阪府商工会館

(注)甲種と乙種休日コースは3日間で、乙種(1期～7期)と土曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ①四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ②各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当てしていますので、満席の節は受け付けできませんからご了承下さい。
- ③申込手続きは代理でも結構です。

受付場所	日時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会 9月2日(月) 午前10:00～11:30
枚方寝屋川消防本部内(京阪・枚方市駅南へ5分)	枚方市・寝屋川市防火協会 9月3日(火) 午前10:00～11:30
大東市消防本部内 (JR・住道駅より7分)	大東市火災予防協会 9月3日(火) 午後2:00～4:00
高槻市消防本部内(JR・阪急高槻駅より10分)	高槻市火災予防協会 9月4日(水) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内(JR・阪急茨木駅より12分)	茨木市災害予防協会 9月4日(水) 午後1:30～4:00
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会 9月5日(木) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会 9月5日(木) 午後1:30～4:00
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅より北へ6分)	東大阪市西防火協力会 9月6日(金) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口門真防火協会 9月6日(金) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会 9月9日(月) 午前9:30～午後4:00 9月10日(火)

(注)12:00～12:45までは昼食休みとさせていただきます。

3. 土曜・休日コースの申込方法

土曜コース(定員140名)、休日コース(定員140名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費

会費には、各テキスト代を含みます。テキスト不要の場合は甲種、乙種2,000円減額。(テキストは平成8年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,000円	18,000円
乙種4類	12,000円	14,000円
乙種(土曜コース)	13,000円	15,000円
乙種(日曜コース)	16,000円	18,000円
丙種	6,000円	7,000円

(注)大学、高校、各種学校の学生については、学生割引として会費は会員扱いとします。(申込時に学生証を掲示すること。)